



令和3年2月22日

広島大学平和センター主催、広島平和記念資料館共催
令和2年度市民公開講座
「次世代への被爆体験継承～誰の視点で語るのか～」を開催します

原爆・被爆体験は、証言や展示物、研究と教育、様々な市民活動を通じて、語り継がれてきました。それぞれの取組みの事例から、これまでのあゆみを振り返ります。

さらに、次世代、未来世代に向けて、市民のみなさんと広島大学と広島平和記念資料館とが、三者協働で展開する新たな被爆体験継承のあり方と可能性を話し合います。

日時：令和3年3月7日（日） 13:00～16:00（12:30 開場）

会場：広島国際会議場 ヒマワリ

言語：日本語

講演者：滝川卓男（広島平和記念資料館館長）

小山亮（広島平和記念資料館学芸員）

Luli van der Does（広島大学平和センター准教授）

中川幹朗（ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会代表）

草原和博（広島大学教育ヴィジョン研究センターセンター長）

参加費：無料

参加方法：会場での参加、もしくは会議システム Zoom を利用しての参加となります。申込時にご希望の参加方法をお知らせください。

<会場参加>

コロナウィルス感染拡大防止の為、マスクは必ず着用ください。

発熱時の風邪症状がある方は、参加をお控えください。

受付で体温チェックをさせていただきます。

また、参加者把握の為、受付にてお名前をお伺いします。ご協力をお願いします。

<オンライン接続での参加ーZoom による WEB 参加>

ご登録いただいたメールアドレスへ参加の可否、参加方法等について連絡いたします。3月3日（水）までにメールが届かない場合は、平和センター（heiwa@hiroshima-u.ac.jp）までご連絡ください。

以下の申込フォームからか、問い合わせ先へメール、電話にてお申込下さい。

https://forms.office.com/Pages/ResponsePage.aspx?id=3VQExGOyJkmGjY4SZA03UEPazVeV0ZdNjCczkB0QY_NUMzRCTIRWRTBINThMMTNLSIVQUEk4SFRLRS4u

【お問い合わせ先】

平和センター

Tel : 082-542-6975 FAX : 082-245-0585

E-mail : heiwa@hiroshima-u.ac.jp

発信枚数：A4版 3枚（本票含む）



広島大学平和センター主催
広島平和記念資料館共催



令和2年度市民公開講座

次世代への被爆体験継承

～誰の視点で語るのか～



建物疎開の作業現場で被爆した動員学徒 森脇瑤子さんの制服
寄贈/細川浩史氏 所蔵/広島平和記念資料館

令和3年3月7日(日) 13:00-16:00 (12:30 開場)
広島国際会議場「ヒマワリ」 参加無料 (先着 100名)
オンライン同時配信 参加無料 (先着 100名)

登壇順

滝川卓男 広島平和記念資料館 館長
小山亮 広島平和記念資料館 学芸員
Luli van der Does 広島大学平和センター 准教授
中川幹朗 ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会 代表
草原和博 広島大学教育ビジョン研究センター センター長・教授

要予約

3月1日締切



お申し込みは左記 QR コードから、またはメールで heiwa@hiroshima-u.ac.jp まで、
またはお電話で 082-542-6975 (平和センター) か、082-242-7828 (資料館啓発課) まで。
手話通訳・要約筆記が必要な方は、申込時にお知らせください。
コロナ対策のため、マスク着用と手指消毒にご協力下さい。熱のある方はご遠慮下さい。





令和2年度 市民公開講座
次世代への被爆体験継承
～誰の視点で語るのか～

令和3年3月7日（日）13:00～16:00（12:30開場）オンライン同時配信
広島国際会議場 ヒマワリ 参加無料 要予約

13:00-13:15 開会の挨拶・趣旨説明



川野徳幸 Noriyuki Kawano 広島大学平和センター センター長・教授。広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センター助手・助教、広島大学平和科学研究センター准教授などを経て、2013年6月から同センター教授。2017年4月、センター長に就任。博士（医学）。専門は、原爆・被ばく研究、平和学。

13:15-13:35 「次世代に伝えたい被爆の実相」



滝川卓男 Takuo Takigawa 広島平和記念資料館 館長。広島大学経済学部卒。1983年に広島市役所入庁。平和施策総合推進担当課長、こども未来局長などを歴任し、2019年3月広島市役所退職。2019年4月より現職。米国・ハワイでの初の原爆展開催（2020年8月）などを展開。

13:35-13:55 「動員学徒の遺品一本館展示資料の入替を例に一」



小山亮 Ryo Koyama 広島平和記念資料館 学芸員。明治大学大学院文学研究科博士後期課程修了。博士（史学）。専門は日本近現代史。明治大学文学部助手などを経て2015年4月より現職。本館常設展示リニューアル（2019年4月）、本館展示資料入替（2021年2月）に携わる。

13:55-14:05（休憩）

14:05-14:25 「子どもだった被爆者一生きてきた記憶」



ファンデルドゥース・ルリ Luli van der Does 平和センター准教授。英国立エディンバラ大学応用言語学部研究員、シェフィールド大学東洋学研究所講師、ケンブリッジ大学中東アジア研究所客員研究員などを経て2019年より現職。Ph.D. in Social Sciences（社会科学博士）。専門は社会心理の言説・表象分析と記憶学。ICMEMO（公共に対する犯罪犠牲者追悼のための記念博物館国際委員会）委員。

14:25-14:45 「そこに子どもたちの遊んだ町があった」



中川幹朗 Moto'o Nakagawa 広島大学文学部卒。広島県立広島観音高等学校教員。ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会代表。佐伯敏子さんの証言をきっかけに、1994年ヒロシマ・フィールドワーク実行委員会を発足。映画「この世界の片隅に」の参考資料にもなった「消えた町 記憶をたどり絵と証言 森富茂雄」など一連の証言集出版を通じて、被爆体験と中島地区周辺の記憶継承に貢献。

14:45-15:05 「過去から記憶を語り継ぐ学校、他者と記憶を語りなおす学校

ー 中学生が教科書を書く、博物館をつくる意味 ー」



草原和博 Kazuhiro Kusahara 広島大学大学院人間社会科学研究科 教授・教育ヴィジョン研究センター（EVRI）拠点リーダー センター長。博士（教育学）。専門は教科教育学。兵庫教育大学助手、鳴門教育大学講師・助教授・准教授を経て、2009年より広島大学大学院准教授。2014年より教授。世界の教育言説やカリキュラムを比較考察し、民主主義社会における主権者育成の原理を究明。

15:05-15:15（休憩）

15:15-15:55 パネルディスカッションと質疑応答

15:55-16:00 閉会の挨拶



片柳真理 Mari Katayanagi 広島大学大学院人間社会科学研究科国際平和共生プログラム プログラム長（兼平和センター副センター長）・教授。Ph.D. in Law（法学博士）。国連東スラボニア暫定統治機構人権担当官、民生担当官、在ボスニア・ヘルツェゴヴィナ上級代表事務所政治顧問、JICA研究所主任研究員等を経て2014年4月広島大学大学院国際協力研究科准教授就任、2015年4月同教授。2016年同副研究科長。2020年より現職。

総合司会



友次晋介 Shinsuke Tomotsugu 広島大学平和センター准教授。2010年名古屋大学大学院環境学研究科修了、博士（法学）。ジョージワシントン大学シグナルアジア研究センター訪問研究員、（独）科学技術振興機構社会技術研究開発センター・アソシエイトフェロー、名古屋短期大学英語コミュニケーション学科助教などを経て、2014年4月より現職。専門は、核をめぐる国際関係史。